

平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

大阪市立大正東 中学校

生徒数

190

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	29.46	25.26	44.43	49.07		75.51	8.09	180.36	19.43	39.12
大阪市	29.00	27.45	41.55	51.39	409.58	84.05	8.10	189.74	20.39	41.00
全国	28.89	27.45	43.20	51.89	391.23	85.99	7.99	194.54	20.56	42.11
女子	25.17	23.02	41.06	46.77		51.27	8.98	157.88	12.76	47.47
大阪市	24.11	23.81	44.70	46.89	303.77	57.92	8.95	165.67	13.06	49.27
全国	23.82	23.73	45.86	46.76	287.36	59.14	8.80	168.57	12.96	49.97

結果の概要

男子においては、握力(筋力)と長座体前屈(柔軟性)で全国平均・大阪市平均を上回ったが、その他の種目はすべて下回った。特に、20mシャトルラン(全身持久力)と立ち幅跳び(筋パワー)で、全国平均を大きく下回っている。女子においては、握力(筋力)は全国平均・大阪市平均を上回った。反復横とび(敏捷性)は全国平均・大阪市平均と同等ぐらいだったが、その他の種目はすべて下回った。特に、長座体前屈(柔軟性)と20mシャトルラン(全身持久力)と立ち幅跳び(筋パワー)で、全国平均を大きく下回っている。男女とも、筋パワーと全身持久力が全国平均を下回っているので、この結果をふまえて、今後、筋パワーと全身持久力を重点的に取り組み向上させていく必要がある。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

平成25年度から毎年の結果をもとに、全国平均・大阪市平均を男・女共に毎回下回っている20mシャトルラン(全身持久力)の向上を中心に基礎体力の向上を目指し、保健体育の授業の導入時にランニング等を取り入れている。その成果としては、一進一退で対象の学年によって上下の幅はあるが常に下回っている状態である。これに屈することなく今後も継続して、保健体育の授業の導入時にランニング等に取り組んで行き、少しづつでも全国平均に近づけるようにしていきたい。今年度は、男・女共に立ち幅跳び(筋パワー)のポイントが全国平均・大阪市平均を大きく下回っていたので、準備体操の後に筋力トレーニングやストレッチを保健体育の授業はもちろん運動部にも積極的に取り組ませ、筋パワーの重要性などを理解・意識させ筋力トレーニングを行うようにしていきたい。